



1. 出穂期以降の水管理

- ・穂ばらみ期～出穂開花期は、3～5cmの湛水とします。
 なお、連続5日以上の湛水は行わないようにしましょう。
 その後は、根を健全に保つために間断灌水を行いましょ。う。
 そして収穫10日前には落水しましょ。う！

2. 台風対策

- ・台風時は蒸発散が盛んになり、吸水量も多くなるので、早めに深水湛水しましょ。う。なお、台風通過後も水田が乾かないように十分に灌水しましょ。う。
- ・冠水した場合は、早期に汚濁水を排除し、新しい水と入れ替えましょ。う。
- ・台風通過後は、「白葉枯病」「穂いもち」「紋枯病」「トビイロウンカ」が多発しやすいので、発生状況を確認し、防除を徹底しましょ。う。

3. 病害虫

○カメムシ類

- ・出穂期以降に成虫が飛来し、穂を吸汁します。
 防除は穂揃い期とその7～10日後の2回散布を基本としてください。
- ・今年^は平年より発生が多いです。
 (病害虫防除技術情報第6号(8月5日発表) : QRコード参照→)
状況に応じ、追加防除をしましょ。う。



【クモヘリカメムシ】【ホソハリカメムシ】



【追加薬剤例】

薬剤名	対象	使用量(10a)	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	カメムシ類	3kg	収穫7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤		60～150L (希釈倍数：2,000倍)	収穫7日前まで	3回以内
キラップフロアブル		60～200L (希釈倍数：1,000～2,000倍)	収穫14日前まで	2回以内
キラップ粉剤DL		3～4kg	収穫14日前まで	2回以内



病害虫の発生
 情報を確認し
 ましょ。う！